

## 平成 30 年度長野県ふるさとの森林づくり賞 受賞者の皆さまの功績

### 【ふるさとの森林づくり大賞】

<b>受賞者名</b>	ただき よしや 只木 良也	<b>住所</b>	京都府北区
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、昭和 54 年の長野県林業大学校開校以来、講師として長期にわたり教鞭をふるい、優れた知識に裏付けられた講義により、学生への指導・教育に多大な影響を与えたほか、氏の優れた教育方法は教職員にも大きな影響を与えてきました。</p> <p>また、長野県林業大学校長の諮問機関である長野県林業大学校運営協議会の運営協議員として、学識経験者の立場からより良い学校運営に向けた助言を行うなど、円滑な学校運営にも貢献されています。</p> <p>加えて、平成 9 年には自らの退職金の一部を学校に寄付され「只木基金」を設立し、この基金により毎年学業優秀な生徒に表彰を行うなど、学生の学習意欲の向上に寄与されたほか、平成 23 年には「只木文庫」を創設し、自ら執筆した本や愛読書を寄贈されるなど、学生の学習環境の整備にも貢献されました。</p> <p>こうした活動を通じて、氏は長野県林業の基盤となる人材育成に多大なる貢献をいただきました。</p>			

### 【森林づくり推進の部】

<b>賞 名</b>	長野県知事賞		
<b>受賞者名</b>	じえいえくすていーじー J X T G エネルギー株式会社	<b>住所</b>	東京都千代田区
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同社は、平成 17 年 5 月に諏訪郡原村との間で、「森林（もり）の里親促進事業」に基づく森林の里親契約を締結し、その後 2 度の商号変更があったものの、現在に至るまで、全国各地から集まった社員やその家族による下刈りや間伐等の森林整備活動を継続しており、その回数は 40 回、延べ参加人数も約 2,000 人となっています。</p> <p>また、活動を継続する中で、イベントや体験会などを通じて地域とのつながりも深まっており、都市と住民の交流による地域の活性化にも大きく貢献されています。</p>			

<b>賞 名</b>	長野県知事賞		
<b>受賞者名</b>	とうきょうとしんじゅくく 東京都新宿区	<b>住所</b>	東京都新宿区
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同区は、昭和 61 年から合併前の旧高遠町と友好連携を宣言し、合併により伊那市となった後も、「地球環境保全のための連携に関する協定」を締結するなど、伊那市との協働による森林整備を進めてこられました。</p> <p>これまでに、新宿区が伊那市内の市有林で実施した間伐面積は累計で約 234ha に達しているほか、「森林の里親促進事業」で認証された CO<sub>2</sub> 吸収量は、約 2,700t-CO<sub>2</sub> にも達しています。</p> <p>また、伊那市内に設置された「新宿の森」では、毎年多くの新宿区民が森林整備を実際に体験して交流を図るなど、都市と地域との住民の交流による地域の活性化にも大きく貢献されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県緑の基金理事長賞		
<b>受賞者名</b>	かるいざわこくゆうりんやぶかりじっこういんかい 軽井沢国有林藪刈り実行委員会	<b>住所</b>	北佐久郡軽井沢町
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同団体は、北佐久郡軽井沢町において野生動物による人的被害の未然防止と森林保全のために、官と民、都市と農村、専門家と地域住民が世代を超えた交流・協働により森林（国有林）の緩衝帯整備に取り組まれています。</p> <p>また、台風による倒木等をきっかけとして雑木が繁茂していた箇所を整備のため、風倒木のチップ化作業を今年度から開始されました。作成したチップを林床に撒布するなどを通じて、子どもたちの森林環境教育の推進にもご尽力いただいています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県緑の基金理事長賞		
<b>受賞者名</b>	とおやま ぜんじ 遠山 善治	<b>住所</b>	下伊那郡天龍村
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、県内の林業関係の高校等において 37 年もの長きにわたって教鞭にたち、自らの実体験に基づく指導や地域の指導林家の知見も活用するなど実践的な技術を有した人材の育成に努められたほか、学校林の整備にも熱心に取り組まれてきました。</p> <p>また、退職後の現在も、自身所有林の森林整備を行う傍ら、氏がお住いの下伊那郡天龍村の教育委員として、小中学生の森林、林業教育にも携わられるなど、長きに亘り、県内の林業教育に多大なる貢献をされています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県森林組合連合会長賞		
<b>受賞者名</b>	のいけあいりんのうぎょうきょうどうくみあい 野池愛林農業協同組合	<b>住所</b>	飯田市
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同組合は、飯田市の水源でもある 1,576ha の所有林を有しており、昭和 24 年の設立当初から組合員による森林の育成作業を実施してきた。近年、地区住民が減少してきている中でも多くの組合員の参加により下刈りや歩道整備などの森林整備やマツタケ発生環境整備が継続されており、地域の森林づくりの推進に大きく寄与されています。</p> <p>また、組合では地域の憩いの場として「野池親水公園」を設置・管理しており、子ども達への森林環境教育や炭焼き体験なども実施するなど、地域の活力創出にも大きく貢献されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県林業普及協会長賞		
<b>受賞者名</b>	はんば ようへい <b>半場 洋平</b>	<b>住所</b>	木曾郡大桑村
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、地元里山の森林や竹林の整備に積極的に取り組んでおられ、整備で発生する竹材を「竹炭」や「竹酢液」として製品化し、里山資源を農林一体で有効活用することによる地域おこしに取り組むなど、竹炭等利用拡大のリーダー役として多大なる尽力をされています。</p> <p>さらに、卓越した製炭技術の普及を図るため、長野県指導林家や（一社）長野県林業普及協会理事として数多くの後進の技術指導にも努められるなど、木曾地域はもとより、県全域において、里山整備の推進と特用林産の振興に多大なる貢献をされています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県林業普及協会長賞		
<b>受賞者名</b>	たなか かなめ <b>田中 要</b>	<b>住所</b>	北安曇郡白馬村
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、自伐林家として森林整備を進めているほか、大北林業研究グループ、長野県林業士会の活動を通じ、地域の森林づくりや森林環境教育に積極的に取り組んでこられ、地域住民との協働による森林整備や、林内での山菜栽培による地域おこし、白馬村子ども育成協議会と連携した小中学校での環境教育などに貢献されています。</p> <p>また、平成 22 年からは長野県指導林業士として、地域の中核林家として後進の指導にも多大な尽力をいただいています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県林業経営者協会長賞		
<b>受賞者名</b>	はんだ まさみ <b>半田 允美</b>	<b>住所</b>	長野市
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、長野市西条財産区議会議員、同議会議長、同運営委員会委員長及び長野市財産区連絡協議会長を歴任され、長年財産区有林の計画的で持続的な森林経営において、中心かつ重要な役割を果たしてこられました。</p> <p>また、この間「森林（もり）の里親促進事業」に基づく森林の里親契約や松代西条地区森林整備パートナーシップ会議により企業や地域住民など様々な主体と連携しながら、地域の森林づくりに多大な尽力をいただいています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県特用林産振興会長賞		
<b>受賞者名</b>	はやし とうよう <b>林 東洋</b>	<b>住所</b>	駒ヶ根市
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、森林所有者の山離れが進み、関心も薄れる中で、マツタケ発生環境整備に長年にわたり取組まれ、マツタケ発生林・発生量の増加という多大なる成果を挙げられたことで、地域住民の森林に対する関心の向上に貢献されています。</p> <p>また、地元駒ヶ根市において結成されている「まつの会」の代表を務め、周辺地域の住民に対して、マツタケ発生環境整備技術の普及・啓発も積極的に行っており、マツタケによる地域振興にも大きく貢献されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県猟友会長賞		
<b>受賞者名</b>	いくら としお <b>伊倉 俊雄</b>	<b>住所</b>	木曾郡木祖村
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、50年もの長きに亘る狩猟歴において、事故や違反行為は一度もなく、模範的な狩猟者として地域の適正な狩猟活動に大きく貢献されています。</p> <p>また、狩猟監視員を10年、木曾猟友会副会長を9年、木曾猟友会会長を9年、長野県猟友会副会長を4年務めるなど、県下の猟友会員の事故防止、狩猟マナーの向上など猟友会の発展に大変な尽力をされとともに、捕獲活動への協力によって、捕獲技術の次世代への継承や地域の野生鳥獣被害対策の推進に大きく貢献されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県林業労働財団理事長賞		
<b>受賞者名</b>	やました かずお <b>山下 一夫</b>	<b>住所</b>	上伊那郡箕輪町
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、平成6年に長野県職員を退職後、職員時代に培った技術を活かして、長野労働局の委嘱によるチェーンソー指導員や林業・木材製造業労働災害防止協会の各種労働安全衛生講習に努められたほか、平成7年には林野庁長官認定の「安全管理指導専門家」に認定され、県内唯一の「林材業安全技能師範」として、県内の林業従事者の安全管理指導に永年にわたり尽力されました。</p> <p>林業における労働災害の業樹別死傷千人率は、他産業に比べ高いものの、近年減少している状況には、氏による講習や指導等が大きく貢献しています。</p>			

## 【森林環境教育推進の部】

賞 名	長野県知事賞		
受賞者名	てんりゅうそんりつてんりゅうちゅうがっこう 天龍村立天龍中学校	住所	下伊那郡天龍村
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同校は、学校林での間伐体験を以前から継続して取り組んでいます。</p> <p>また、村産材が 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック選手村の交流スペースに使用されることが決定したことをきっかけとして、平成 29 年度からは世界のアスリートに村産材で作られた 2020 本の手作りハンガーを届けることを目的とした「天龍中学校ハンガープロジェクト」に取り組んでおり、平成 30 年 10 月にはプロジェクトとして初めて、至学館大学の女子レスリング部の選手にハンガー70 本を贈呈しており、今後も世界を見据えた森林環境教育の推進が期待されます。</p>			

賞 名	長野県教育委員会賞		
受賞者名	いなしりついなにししょうがっこう 伊那市立伊那西小学校	住所	伊那市
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同校は、開校翌年の昭和 26 年に隣接地にカラマツ 2,500 本を植栽することで学校林が設けられ、以降 70 年近くにわたり、児童やPTAなどの手により、多様な植生を持つ豊かな森林に育てられ、その森林空間は日々の教育活動の場として活用され、この実体験を基にして児童の自然科学への理解を深めることにつながっています。</p> <p>また、学校林での松枯れ等の発生を踏まえ、地域住民の意見を踏まえた学校林整備指針の作成にも取り組むなど、地域住民との協働により学校林を次世代に引き継ぐ活動にも積極的に取組まれています。</p>			

賞 名	長野県緑の基金理事長賞		
受賞者名	かぶしきがいしゃこやまりんさん 株式会社小山林産	住所	上田市
<p>&lt;功績事項&gt;</p> <p>同社は、昭和 39 年に創業し、上田市武石地域を中心に主要事業の特殊伐採のほか、森林整備や作業道作設、自然石での石積み等の土木作業、リフォームなどの様々な事業を手掛けてこられました。加えて、近年は広葉樹薪の生産体制を強化されるなど、里山資源の有効活用及び地元の雇用につながる林業の産業化などにも取り組んでおられます。</p> <p>また、地元の小中学生を対象に、ボランティアで自然体験授業を実施されており、普段の授業では得られないような体験を提供することで、将来の担い手確保にも大きく貢献されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県緑の基金理事長賞		
<b>受賞者名</b>	せきぐち かねよし 関口 兼善	<b>住所</b>	飯田市
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、飯田市千代地域において、地域の伝統文化である炭焼きをその背景も含めて小学校の児童に熱心に指導されてきたほか、千代小学校に隣接している学校林「千代っ子の森」で原木の調達から駒打ちなどのキノコ栽培の指導を行うなど、炭焼きからキノコ栽培まで幅広い森林環境教育に多大なる貢献をされています。</p> <p>また、現在も地域応援団として、小学校周辺の支障木伐採を行うなど、自主的に地域の環境整備に取り組んでおられます。</p>			

## 【信州の木利用推進の部】

<b>賞名</b>	長野県知事賞		
<b>受賞者名</b>	あさひむら 朝日村	<b>住所</b>	東筑摩郡朝日村
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同村は、天然カラマツやヒノキなど全7樹種の村産材を活用したほか、地中熱等の再生可能エネルギーを活用し、防災拠点としての機能も備えた新たな村庁舎を平成30年3月29日に竣工し、平成30年5月7日に開庁されました。</p> <p>また、庁舎建設に当たっては、構造材や内装材に村産材を活用したほか、長野県が大臣認証を受けた信州型接着重ね梁を使用するなど、地域産の技術や材料をふんだんに活用していることから、木造建築物の展示効果により、今後の更なる県産材利用促進が期待されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
<b>受賞者名</b>	とくていひえいりかつどうほうじんそんさんざい つかうかい 特定非営利活動法人村産材を使う会	<b>住所</b>	南佐久郡北相木村
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同団体は、南佐久郡北相木村において村の主要樹種であるカラマツを中心に村産材の知名度向上と利用促進を図るため、各種展示会等でのPRや新商品開発による地域ビジネスの構築などに大きく貢献されています。</p> <p>戦後造成した森林が成熟し利用の時代を迎えつつある中で、適切に主伐・再造林を行い、次世代に健全な森林を引き継ぐためには、県産材の利用促進に向けた取組が不可欠であることから、当該取組の更なる発展が期待されます。</p>			

<b>賞名</b>	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
<b>受賞者名</b>	なんば けんいち 南波 健一	<b>住所</b>	上田市
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同氏は、上田市にある有限会社ナチュラルウッドの代表を務めておられ、カラマツの欠点である「ねじれ」「割れ」「ヤニ」を克服した信州カラマツフローア材の製品化に尽力されてこられました。特に関西方面では同氏が生産したカラマツフローア材が「南波（みなみ）カラマツ」として多くの建築士等に高品質な製品として認められています。</p> <p>かつては、土木用材としての利用が主であったカラマツの新用途開発は、県産材の利用拡大に大きく貢献されました。</p>			

### 【長野県森林づくり県民税活用の部】

<b>賞名</b>	長野県知事賞		
<b>受賞者名</b>	きーず KEESプロジェクト	<b>住所</b>	伊那市
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同団体は、平成 26 年度に長野県森林づくり県民税を活用して、地域産のアカマツを活用して穴あきブロックと角棒に加工して組み合わせる組立多用途ブロック「KEES」を開発し、希薄だった地域の里山と商店街をつなぐ仕組みを創出しました。</p> <p>また、「KEES」の製作や販売、「森の体験プログラム」の実施により多くの方々が木製品や里山を身近に感じるきっかけを作るとともに、木育活動を通じて幼児や児童が木に触れ合い、想像力を養う機会を提供するなど、森林づくり県民税の趣旨に合致し、その普及に大きく貢献されています。</p>			

<b>賞名</b>	長野県森林組合連合会長賞		
<b>受賞者名</b>	おきでんきこうぎょうかぶしがいしゃ 沖電気工業株式会社	<b>住所</b>	東京都港区
<b>&lt;功績事項&gt;</b>			
<p>同社は、平成 17 年 1 月に小諸市との間で、「森林（もり）の里親促進事業」に基づく森林の里親契約を締結され、支援対象の小諸市内の民有林 2,229ha において、森林整備に関する資金提供や社員による下刈りや間伐などの森林整備ボランティア活動などを通じて、現在に至るまで、小諸市への森林整備支援を継続されています。</p> <p>過疎化や高齢化等による担い手不足が懸念される中で、企業の皆様との協働による森林整備を進めた取組は、地域の森林整備の推進に大きく寄与されています。</p>			

賞名	長野県木材協同組合連合会理事長賞		
受賞者名	<small>とくてい ひ え い り かつ どう ほう じん さん そ う た の し い ち い き ひ ら</small> <b>特定非営利活動法人散走が楽しい地域を拓く</b> <small>かい き た し ん し ゅ う し ん り ん い え かい</small> <b>会、北信州の森林と家をつなぐ会</b>	住所	長野市 中野市
<p><b>&lt;功績事項&gt;</b></p> <p>特定非営利活動法人散走が楽しい地域を拓く会と北信州の森林と家をつなぐ会は、北信地域の代表樹種であるスギや広葉樹を活用して、飯山市の街並みに合うサイクルラック等を製作し、県産材の良さを広くPRしています。</p> <p>また、北信州の森林と家をつなぐ会は、地元の小学生を対象としたベンチづくりを通しての木育活動や、高校生の林業体験活動の支援に取り組んでいます。</p> <p>両団体の活動は、森林税事業を活用し、地域の特性を活かしながら地元材を有効活用するモデルとなる取組であり、地域づくりや県産材の利活用に大きく寄与されています。</p>			